

# 生長の家総本山第399回龍宮住吉本宮団体参拝練成会プログラム

平成30年10月11日～14日

	第 1 日 目 10月11日 (木)	第 2 日 目 10月12日 (金)	第 3 日 目 10月13日 (土)	第 4 日 目 10月14日 (日)	
30					
5		起床放送…	起床放送…	起床放送…	5
6		早朝行事……楠本行孝 (如意宝珠観) 組織会員祝福祈願祭 『大自然讃歌』 『万物調和六章経』 「すべては一体」と実感する祈り	早朝行事……板垣雅勝 (四無量心を行ずる神想観) 『万物調和六章経』 神の愛に感謝する祈り	早朝行事……日向光春 (神を讃える神想観) 聖經一斉読誦 『聖使命菩薩讃歌』 聖經『甘露の法雨』 『万物調和六章経』 神の無限生命をわが内に観ずる祈り	6
7	[参加教区] 室蘭 36日(9人) 函館 28日(7人) 十勝 22日(6人) 青森 56日(14人) 福井 51日(13人) 京都第二 91日(23人) 長崎南部 366日(92人) 長崎北部 202日(51人) 合計 852日(215人)	室内献劳・朝食 30	朝食(6:20) 奥津城へ移動	室内献劳・朝食 ラジオ放送 「幸福への出発」拝聴	7
8		顕斎殿へ移動	奥津城へ移動	顕斎殿へ移動	8
9		【悦びの信仰生活】 体験発表	奥津城参拝の儀 聖經『甘露の法雨』	講 話・・・目等泰夫 【国際平和信仰運動に邁進する】 —世界平和のための特別誓願の意義— 『宗教はなぜ都会を離れるか?』 『この星で生きる』	9
10		休 憩 講 話 ……山岡 睦治 【“新しい文明”の基礎を築こう】 —低炭素のライフスタイルの実践 と普及のために—	30 インターブ・リテーションを交えた 日時計主義の実践	休 憩 特別誓願券奉安の儀 『観世音菩薩讃歌』	10
11		休 憩 講 話 ……楠本行孝 【大自然に四無量心を行ずる】 『凡庸の唄』 『宗教はなぜ都会を離れるか?』 『この星で生きる』	下山 昼食(一汁一飯) 11:30	閉 会 式	11
12	国旗掲揚(毎朝7時55分)	記念写真撮影 昼 食 (12:20)	下山 昼食(一汁一飯) 11:30	〔閉会式次第〕 閉会の挨拶・・・目等泰夫 決意の言葉・・・ ( 教区教化部長 ) 聖歌「使命行進曲」	12
PM 1	[閉会式次第] 国歌斉唱 開会の祈り……目等泰夫 開会の挨拶……目等泰夫 教化部長挨拶…… ( 教区教化部長 )	50 15	50 15	PM 1	
2		霊宮へ移動	顕斎殿へ移動	( テキスト ) 『凡庸の唄』 『神さまと自然とともにある祈り』 『宗教はなぜ都会を離れるか?』 『この星で生きる』 機関誌『生長の家』10月号 ブックレットシリーズ3 『人間・神の子は立憲主義の基礎』 ブックレットシリーズ4 『戦後の運動の変化について』	2
3	入 浴	龍宮住吉霊宮参拝 『大自然讃歌』 温故資料館拝観	P B S 演 習 ( 献劳を含む )		3
4	夕 食 国旗降下(毎夕4時30分)	入 浴・夕 食	入 浴・夕 食	[ 持ちもの ] 聖經四部 『大自然讃歌』 『観世音菩薩讃歌』 『万物調和六章経』 『日々の祈り』 神・自然・人間の大調和を祈る』 『生長の家聖歌歌詞』	4
5					5
6		顕斎殿へ移動	顕斎殿へ移動		6
7		聖歌合唱	顕斎殿へ移動		7
8		開 会 式 10	顕斎殿へ移動		8
9		龍宮住吉並び特別誓願券の記載 正統の御祭神について 参拝の儀 式奉安の儀 『聖使命菩薩讃歌』 『万物調和六章経』 ( 天地一切と和解する祈り )	浄心 講 話 ……目等泰夫 『大自然讃歌』 『観世音菩薩讃歌』 記 載 実 修 聖經『甘露の法雨』 『万物調和六章経』 天下無敵となる祈り	30 00	
10		講 話 …… 目等泰夫 【龍宮住吉本宮の御祭神について】 『宗教はなぜ都会を離れるか?』 『戦後の運動の変化について』	日時計主義の実践 作品発表 ……前田智子 祈り合いの神想観 説明と実修 ……日向光春 『日々の祈り』 『万物調和六章経』 有情非情悉く兄弟姉妹と 悟る祈り	30 00	
15		特別誓願券の記載 神想観実修(教区ごと)	就寝準備 顕斎受付	就寝準備	9
30		就 寝 準 備	就 寝 準 備		9
10	おやすみ放送・	おやすみ放送・	おやすみ放送・		10

封筒・短歌・俳句などを  
制作する際に使用する  
筆ペン・絵の具・色鉛筆等は  
各自用意をお願いします。